

# 西条市の防災教育の現状を視察 ベトナム・フエ市の研修団が来西

7月2日から5日までの間、フエ市のトゥアン副市長をはじめとする職員や教員など7名が西条市を訪れました。

西条市はJICA（国際協力機構）の草の根技術協力として、12歳教育（防災教育）をフエ市に紹介し、現地に合った形の防災教育プログラムの開発に取り組んでいます。

研修団の来西は、昨年に引き続き2度目となるものです。今回は、市の防災教育の現状などを理解していただくため、防災の取り組みについての研修や教員との意見交換、小・中学校の視察訪問を行いました。

研修団の皆さんは、フエ市の防災教育プログラムの開発について、教員と活発な議論を行ったり、小中学校の防災訓練を視察したりするなど、熱心に研修に取り組みました。

飯岡小学校では児童引渡し訓練、西条西中学校では中学生が近くの幼稚園児と一緒に避難する様子を見て、特に、「自分の身は自分で守る」「逃げる、死ぬな、助ける」ということを児童や生徒に身に付けさせる学校の防災訓練に関心をもって視察されていました。

ました。

研修を終えられた皆さんは、「西条市の取り組みは素晴らしい。小中学校での防災訓練にも感心した。今回の研修を参考にして、フエ市でも良い防災教育プログラムを実現したい」との感想を述べていました。

今後も災害に強いまちづくりをめざして、西条市の12歳教育を紹介しながら、フエ市の皆さんとともに現地に合った防災教育プログラムの開発に取り組んでまいります。



▲西条市の防災施策を学ぶ皆さん



▲西条市長を表敬訪問したフエ市研修団の皆さん



## フエウオッチング

日本人にも馴染み深い「しじみ」。ベトナムの中部、フエでは、「コムヘン」と呼ばれるしじみごはんが名物料理としてあります。コムヘンは白ごはんに刻んだバナナの花、スターフルーツ、香草などを混ぜ、その上に蒸したしじみの身、ピーナッツ、白ゴマ、揚げた豚皮をのせしじみの出し汁をかけて食べます。このコムヘンは古くから庶民の朝食として愛され、フエの中心を流れるフン川の中州にあるコンヘン（ヘン＝しじみ）という島が発祥の地だと言われています。コンヘンには、しじみに関わる仕事をする人々が暮らしています。

フエを訪れたら、優雅なホテルの朝食も良いのですが、少し早起きをして、フエの庶民の味である「コムヘン」を楽しんでみてはいかがでしょうか。



▲コムヘン（しじみごはん）

フエ市防災教育支援事業 コーディネーター 中村範子



▲飯岡小学校の児童引渡し訓練の様子



▲西条西中学校の避難訓練の様子